

世界脳卒中デーに合わせて10/29に「看護の日フェア」を開催しました。

「脳卒中ミニ講座」、「物忘れチェック」、「手洗い体験」、「各種相談窓口（介護・栄養・看護）」など様々なブースを設けて実施しました。「脳卒中ミニ講座」は特に人気があり、当院の脳卒中リハビリテーション看護認定看護師より①FASTについて説明、②脳ドックの紹介、③脳卒中相談窓口について紹介の3つの講話をしていただきました。その様子が神戸新聞に掲載されています。

来年も開催予定ですので、興味のある方はどなたでも気軽にご参加ください。日程については追ってお知らせいたします。

脳卒中、予防や症状解説  
大西脳神経外科 専門の看護師が講座



看護師による脳卒中ミニ講座を受ける参加者ら＝明石市大久保町江井島

脳卒中や認知症予防を啓発するイベント「看護の日フェア」が、大西脳神経外科病院（明石市大久保町江井島）であった。地域住民らが訪れ、専門の看護師による講座や健康相談などで意識を高めた。

同病院では4月、脳卒中などで入院した患者らを対象に、日々の療養生活や健康をサポートする看護外来を新設した。

イベントは毎年「看護の日」の5月12日に開いていくが、今年は世界脳卒中機構が定める「世界脳卒中デー」に合わせて10月29日に開催。より気軽に来場してもらおうと、昨年からの会場を院内から屋外の駐車場に変更した。

会場では、専門の看護師が脳卒中の予防や症状などを解説するミニ講座のほか、認知症の物忘れチェック、感染予防のための正しい手洗いを確認するブースなどを設置。来場者は、日々の生活で気になることや予防方法などを相談していた。来場した74歳の女性は「今は健康だけど、何があるかわからない。日頃気になっていることも聞けて安心した」とほほえんだ。

前田ゆうこ看護部長は「地域の方と対面で交流できる貴重な機会。院外での啓発活動も地域の医療機関としての役割なので、イベントを通して関心をもってもらえたら」と話した。

（赤松沙和）

ベルガーデン  
079-962-4516